

会議名	第18回 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
開催日時	令和3年12月2日(木) 午後2時00分～午後4時00分
会場	万代市民会館 403・404 大研修室
出席委員	【委員】中村会長、西垣委員、高松委員、高橋委員、なぐも委員、小沢委員、 宮本委員 【行政関係】小川信濃川下流河川事務所
主な 議事内容	<p>(1) 新任委員紹介 ○国土交通省信濃川河川事務所 小川純子事務所長の自己紹介</p> <p>(2) 「ミズベリング信濃川やすらぎ堤2021」の実績報告について</p> <p>○施設使用契約者(株)スノーピークより報告</p> <p>①水辺アウトラウンジ「やすらぎ堤」 6/19(土)～8/29(日) 72日間開催(前回は99日間) ・出店店舗…6店舗(右岸5店舗、左岸1店舗) ・売上実績…76,155,630円(前年比75%) ・店舗レジ客数…26,778名(前年比66%) ・実施イベント…31件(うち新規13件) スノーピーク自主イベント9件、誘致イベント6件、 店舗その他16件 ・中止イベント…3件(悪天候のため) ・10月～11月の間のスノーピーク自主事業以外のイベント 10/22(金)～10/31(日)「水辺ワークプレイス実証実験」左岸 新潟市スマートシティ協議会 139名参加 10/29(金)～10/31(日)「にいがた酒JAM」右岸 新潟酒JAM実行委員会 137名参加 11/3(水・祝)「オレンジリボンたすきリレー」右岸 にいがた元気プロジェクト 子ども虐待防止 オレンジリボンたすきリレー実行委員会 約300名参加 新潟県、新潟市が後援</p> <p>②成果の取りまとめ ・開催期間の短縮、コロナウイルス感染症による特別警報や時短要請の影響もある中、2年ぶりの開催となりましたが、新しい生活様式を実践しながら、「レンタサイクル」などの新規事業のほか、地域企業との連携(7企業)など、各種イベントを実施し、1日あたりの利用者数は例年並。また常設店舗1日平均売上は一昨年並を達成できた。</p>

- ・利用者アンケート調査では、コロナ禍での実施で賛否両論あると予測していたが、結果では、前年を超える満足度を得ることが出来た。
- ・万代橋側での催物でDJブースからの大音量で周辺住民から苦情があり、節度ある対応をイベント主催者に指導し、改善を図った。
- ・ゴミ対策として、日常的な清掃に加え、出店者によるゴミ拾いを行った。
- ・広報では、インスタグラムの活用は利用者が多く、成果があった。万代橋東詰広場での布看板を多く設置した事は良かった。

③質問

- ・新潟らしさをもっと出せたら良かったのではないか。
- ・土手の芝生の状態について
 - 一部剥げた箇所があり、肥料をまいて経過観察したところ良好になった。

(3) その他

事務所から、2022年は大河津分水の通水100周年、関屋分水通水50周年を迎え、様々な事業を予定している旨の説明がありました。

(4) 次回開催は2022年2月の予定